

# 大学・短大きめ細かく支援

# 就活美容やマナーも

就職活動が本格化する中、県内の大学や短期大学が学生へのきめ細かな支援を展開している。「見せ方」を学んでもらうための美容講座をはじめ、卒業生との面会の旅費を補助したり、電話のかけ方といったマナー講座を行ったりと、独自の内容でサポート。産業界の人手不足を背景に学生側に有利な「売り手市場」とされるが、将来の離職防止も念頭に、希望業種への就職を後押ししようと各大学などが知恵を絞る。



眉毛の整え方を教わる群馬大理工学部の男子学生ら  
＝4月24日(三神和晃撮影)

## 肌手入れ法や髪形 電話のかけ方指導

群馬大理工学部は4月17、24の両日、桐生市の桐生キャンパスで資生堂ジャパン(東京都)社員を講師とした初の「就活メイク講座」を開いた。就活を控える3年生と大学院1年生を応援する目的で、男女計約85人が参加した。

活動向きの髪形」などを指導した。「顔の印象の8割を決める」という眉毛の整え方について、学生たちは講師のアドバイスを受け、自らカット。あか抜けた印象になった互いの顔を見合わせ、「変わるもんだね」と声を弾ませた。

同社美容戦略部の亀井菜穂子さんは栄養状態や疲労などは肌現れるとした上で「肌から生活状況が分かってしまう。現代は男女に関係なく、就活ではセルフプロデュースする力が求められる。指導を参考に乗り越えてほしい」と話した。

トばかりで見た目に気が回らなかったが、講座は勉強になった。就活へ自信が湧いてきた」と喜んだ。

全国各地で活躍する卒業生の力を借りるのは高崎経

済大。同大は昨年度から、1、2年生を対象とした国内研修プログラム「先輩に会いに行こう」を始めた。卒業生との面会にかかった交通費や宿泊費を学生1人当たり最大で10万円助成する仕組み。自身のキャリア形成に役立てつつ、就職活動にも意識を向けてもらいたいと考えた。

全国に30支部ある同窓会の協力の下、各支部のOB・OGを招いた就職相談会は毎年開催。担当者は「学生の約7割が県外出身という強みを生かし、卒業生の協力を得ながら取り組んでいる。支援を続けることで、大学の魅力向上につながる」と話す。

幼稚園教諭や保育士を輩出する新島学園短大(高崎市)では、コミュニケーションも学科で保育実習を想定したマナー講座を展開。実習先とやりとりするための正しい電話のかけ方や、現場で先輩教諭らと話す際の敬語の使い方など、就職活動や就職後にも生かせる実践的な内容を学ぶ。

企業などへの就職を目指すキャリアデザイン学科でも面接時の所作を学べる講座を開いており、担当者は「売り手市場に甘えることなく、学生一人一人に希望する業種に就いてもらえるよう丁寧な支援を続けていく」と話した。

(和泉皓也)